



萌木 7月号

～自尊・立志・感動～



調布市立第七中学校

校長 小坂 力

令和2年7月10日発行

学校の目指す姿

校長 小坂 力

休校期間が終わり、6月からの分散登校から約1ヶ月経ちました。この間、経験したことのない状況の中、生徒の皆さんは本当によく頑張って学校生活を送っています。学習や進路のこと、生活のことなどで、多くの不安もあったことかと思えます。その中で、新たなクラスや学年で、新しい先生たちや仲間たちと、自分の居場所を確保するよう努めながら、学習に取り組んできたところです。また、感染予防に努め、まだ様々な制限がある中で、委員会活動や部活動も徐々に再開して取り組んでいます。

そこで、6月29日（月）の動画で行った全校朝礼で、全クラスで次のような話をしました。

おはようございます。

6月1日からの分散登校から約1か月が経ちました。部活動も徐々に始まり、通常生活に戻っていますが、皆さん学校のリズムには慣れたでしょうか。そして、今日が期末テスト1週間前です。計画を立てて、取り組んでほしいと思っています。

さて、今日は調布七中の目指す学校像というものについてお話します。本校の目指す姿は「生徒一人一人に居場所があり、安心・安全で自分の力を伸ばす学校」です。これは3つに分けられます。

- (1)「自分の居場所があること」
- (2)「心も体も安心・安全であること」
- (3)「自分の得意なことなどを高め、苦手なことにも挑戦し力を伸ばすこと」

本校には420名が在籍しています。これは命の数です。この一つ一つの命が輝くよう、七中の先生たちは、みなさんがそれぞれの居場所で、安心して自分の力を伸ばせるようにできる限り指導・支援していきます。

そこで生徒の皆さんに期待することは、自分の居場所があるか、また、周りの人には居場所があるか、安心して生活できているかななどを、日々確認してほしいと思っています。そして、思う存分自分の力を伸ばして行ってほしいと考えています。不安な思いや自分の居場所がないと感じたり、そのように感じている人を近くにいたりするならば、すぐに先生たちに知らせてほしいと思います。みんなの力で7月を素晴らしい月にしていきましょう。

入学式や始業式でも同じような話をしたかと思いますが、改めて、学校生活が始まり一ヶ月たったところで、振り返り、確認してほしいと考えお話ししたところです。生徒のみなさんには自分の輝ける場所で、自分の力を発揮してほしいと思っています。

最後になりましたが、保護者の皆様、地域の方々、関係者のみなさまには、これまでの間の七中の取組について、御理解・御協力いただいたこと、心から感謝申し上げます。



自習教室を行いました。

地域コーディネーター 木村真由美

7月7日（火）と9日（木）の2日間、放課後に自習教室を行い、1年生から3年生まで延べ70名が参加しました。中学入学後、初めての定期考査となる1年生は、考査範囲表とにらめっこしながら集中して課題に取り組みました。2年生と3年生は、自ら設定した高い目標に向けて真剣に学習に取り組んでいました。誰もが期末考査までの貴重な時間を有意義に過ごせたようです。



体育館の改修工事が始まりました。

6月20日から体育館の改修工事が始まりました。今回の改修は、鉄筋部分を残し、それ以外の壁・天井・床など、ほとんどすべての部分を新しくするものです。工期は今年いっぱいになります。この間、授業や集会などで体育館を使用できなくなりますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。



七中の風景

